

会 議 録

議 題	平成24年度 大垣市地域福祉計画策定・評価委員会		
日 時	平成24年11月21日	場 所	本庁 3階合同委員会室
	9時56分～11時35分	事務局	社会福祉課
出席者	<p>【策定・評価委員】※役職等は委員名簿参照 山田武司、五十嵐和夫、津汲陽子、村田務、 二村勝、岡本敏美、國枝義見、白井憲治、山 岡泰利、山田明子、富田重幸、高橋和子、牧 野英紀、森淳子、林文雄、江森満壽子、平田 利男</p> <p>【事務局】 (福祉部) 中山部長 (社会福祉課) 藤課長、説田係長、後藤主査、 島田 (高齢介護課) 川合課長 (子育て支援部) 片岡部長 (子育て支援課) 浅井課長 (社会福祉協議会) 早崎事務局長</p>	傍聴者数	1人
		記録方式	要約
<p>【発言】</p> <p><社会福祉課長></p> <p>少し早いですが、皆様もお揃いですので、ただいまから、「平成24年度大垣市地域福祉計画策定・評価委員会」を始めさせていただきます。</p> <p>はじめに、大垣市福祉部長の中山がご挨拶を申し上げます。</p> <p><福祉部長></p> <p style="text-align: center;">～ あいさつ ～</p> <p><社会福祉課長></p> <p>議事に入ります前に、本日の委員の出席状況についてご報告させていただきます。</p>			

＜社会福祉課長＞

委員定数24人中、本日の出席委員は17人でございます。

委員会設置要綱第6条第3項の規定に基づき、出席委員が過半数を満たしていますので、本委員会が成立しておりますことをご報告させていただきます。

次に、代表者の変更により、今回から新たに2名の方に委員として加わっていただいておりますので、ご紹介させていただきます。

お時間の都合もでございますので、お名前のみご紹介とさせていただきますので、よろしくお願いたします。

○大垣市PTA連合会 会長の二村勝さまでございます。

○大垣市青年のつどい協議会 会長の牧野英紀さまでございます。

以上でございます。どうぞよろしくお願いたします。

なお、その他委員の皆様につきましては、お手元に配付しております、委員名簿をもってご紹介に替えさせていただきますので、よろしくお願いたします。

さて、ここで、本来でございますと、池永委員長さまに議長をお務めいただくところでございますが、委員長は、本日は急遽、ご都合によりご欠席になりました。

委員会設置要綱第5条第3項では、委員長がご欠席の場合は副委員長が、その職務を代行することになっておりますが、本委員会の副委員長は、岡本委員さま、國枝委員さま、村田委員さまの3名がおられます。議長は、どなたにお願いさせていただいたらよろしいでしょうか。

(國枝副委員長を推薦する発言あり)

ただいま、國枝副委員長にとのお声をいただきましたが、國枝副委員長さまに議長をお願いすることでよろしいでしょうか。

(委員から「異議なし」の声)

それでは、國枝副委員長さまに議長をお務めいただきたいと思います。

國枝副委員長さま、よろしくお願いたします。

(國枝副委員長は議長席に移動)

議事に先立ちまして、國枝議長さまからご挨拶を頂戴したいと思います。

＜議長＞

～ あいさつ ～

<議長>

はじめに、本日は1人の方が会議の傍聴を希望されておられます。

大垣市地域福祉計画策定・評価委員会の会議の公開に関する事務取扱要領第3条第1項の規定により、会議の傍聴を許可してよろしいでしょうか。

(委員から「異議なし」の声)

それでは、傍聴希望者の方に入場していただきます。

(傍聴希望者入室)

それでは、議事に入らせていただきます。

第1号議案「大垣市第二次地域福祉計画の実績及び事業計画について」のご審議をお願いします。

本議案について、事務局から説明をお願いします。

<事務局(説田係長)>

(資料に基づき説明)

<事務局(早崎事務局長)>

(資料に基づき説明)

<議長>

ありがとうございました。

ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたら、ご発言をお願いします。

<委員>

2ページの事業No.6配食サービス事業等の推進で質問させていただきます。

現在、高齢者の独居の方、高齢者世帯のみの方に配食サービスを市のほうが実施していただいているが、介護保険法が平成24年に改正されまして、デイサービスを利用している方が、夕方、家に帰るのが5時30分であったりと、遅くなってきている。普通であれば、入札した業者さんが夕食を自宅まで持っていくという形が、今回、制度が変わって家に帰るのが遅くなったからということで、デイサービスの事業所のほうが、夕食の部分をお預かりしていくということに現在なっている。これは、来年度、また入札があるのか分かりませんが、来年度はデイサービスの事業所が持っていかななくてもいいような形にさせていただけるのか。いまのところは大きな問題はないとは思いますが、デイサービスの事業所が業者の代わりに夕食を預かって持っていくのは無理がある。もし途中でこぼれたり、衛生面で何か問題

があったときに、デイサービスの事業所が責任をとるのは、趣旨とちがうのではないかと思われるので、来年度に入札するときには、ある程度、家に帰るのが遅くなったとしても、業者の方で持って行っていただけるようお願いしたい。この目的というのは、配食だけでなく、安否確認もあるため、よろしくをお願いしたい。

<議長>

ありがとうございます。

ただいまのご意見について、事務局お願いします。

<高齢介護課長>

高齢介護課長の川合でございます。よろしくお願いいたします。

ただいまのご質問ですが、今年度の配食サービスにつきましては、制度が変わったということで、市の対応が遅れたということがございまして、デイサービスの方にご無理をいまして、夕食の方を配付させていただいて、そこからご本人さんの方へ渡していただくことにしておりますが、来年度につきましては、ご自宅の方に持っていくようにと計画を立てております。来年度の予算もございまして、今はっきりと申し上げにくいところがありますが、予定としては、ご自宅の方に持っていけるように業者に依頼しますので、ご理解をいただきたいと思っております。

<議長>

項目が多彩にわたっておりますので難しいとは思いますが、ほかにご意見はございませんでしょうか。

<委員>

私どもは高齢者施設を運営しておりますが、震災に対して、いま一般企業では多いBCPという事業継続計画がありまして、福祉のところでその観点が大事になってきまして、大垣市から福祉避難所として特養は最初に受けて、かなりの事業所は福祉避難所として指定されているところであるが、震災後のこういったもの、単純に食糧や水はどこでも備蓄するのは当然のことで、集めているもの生活必需品であったり、特に、ライフラインが途絶えた場合にどうするのかというところが、各事業所単位では決めていない、また、BCPという感覚がまだないので、そういった管理者向けの研修が必要となってくると思っておりますし、特養では、先ほど、(別の)委員さんから介護保険制度が一部改正されたとありましたが、24年度から喀痰吸引は介護業務としてある。吸痰をする人が特養にはたくさん見えるが、電気が止まっ

た場合、吸痰はどうしようかという問題が出まして、小さな発電機を用意はしているが、これではどこの部屋にどれだけ増えるのか分からないということで、特養だけが特定行為の事業所の登録をしている。そういった方たちの対応のために、私どもも大きな発電機を作らなければならないと、来年度コンセントが使えるように計画を立てていますが、そういった場合の方の行為として認められた以上は今後増えてくる可能性がありまして、実施するところも増えてきますので、BCPの研修が必要になってくるのではないかと。先ほど社協さんから介護サービス事業者連絡会ということで研修を行っていますが、そこで施設部会を担当しておりますので、今後、特に管理者施設に対して、大垣市の生活安全課の方や社協さんの協力を得ながら研修をさせていただくことを考えています。そういった震災後の援助協定がございしますが、そのままになっておりますので、その後のフォローとして、大垣市さんからの関わりをお願いしたいと思っております。

<社会福祉課長>

社会福祉課長の藤と申します。各事業所さんには福祉避難所ということで、市内19カ所の施設の方々にお世話になっております。確かに協定を締結させていただいた後のフォローがあまりできていないところが実情でございますので、生活安全課ともそのあたりにつきまして、研修等の検討をさせていただくよう、調整を図りたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

<議長>

ほかにご意見はございますか。

<委員>

4ページのNo. 14災害時要援護者台帳の件ですが、今回、上石津で豪雨災害がありまして、その時に災害時要援護者台帳を活用されたと思われませんが、実際、どのように活用されて何か課題等があったのか、もし検証がありましたら教えていただきたい。

2点目として、20ページのNo. 52成年後見制度の利用支援のところですが、計画として障がい者で1名、高齢者で3名ということで、現在、1名ずつ利用していて、次年度も1名という形になっておりますが、今後、25年度社協に成年後見センターが設置されていくという形で、利用が増えていくと考えられるが、現在1名の利用というのは、その利用がないのか、それとも制度の利用に結びついていないのか、教えていただきたい。

<議長>

ありがとうございます。

ただいまのご意見について、事務局お願いします。

<社会福祉課長>

1点目の上石津での災害時要援護者台帳の活用状況でございますが、上石津地域の民生委員さま自治会長さまには災害時要援護者台帳登録者の資料等提供させていただいておりますが、今回、災害のありました上石津時山地域は、地域のつながりが非常にしっかりしているところであり、どこにどのような方がおられるかというのがよく分かっておられます。そういうことから、迅速に避難をさせていただいたことで、人的被害には至らなかったということでございます。今後、他の地域におきましては、地域のつながりが少ないところもございますので、そのあたりについては、民生委員さま自治会長さまと連携を図って、社協の見守りネットワーク事業を活用しながら、迅速な対応に努めていきたいと思っております。

2点目の成年後見制度でございますが、この事業につきましては、平成24年度から障害者自立支援法で義務化になっております。そのため、今年度に入りまして、すでに3件ほどの利用がございますので、今後、増えていくものと思っております。ほとんどの対象者は、ご自分で申請することができない方でございますので、支援をしていただく方への周知も図ってまいりたいと考えております。よろしく申し上げます。

<議長>

ほかにご意見はございますか。

<委員>

12ページのNo.32発達障がい児等の支援体制構築プロジェクトチームの設置で、社会福祉課の方と子育て支援課の方にご尽力をいただきまして、発達障がい児にどういった支援していったらいいかご援助いただけてすごく助かっていますが、現実には、保育をしているのは幼稚園の教諭であったり、保育園の保育士であったりしますので、ぜひ拡充という意味で、発達障がいの子を保育している保育園や幼稚園に対して、人的な支援をお願いしたいと思っております。正直いって3歳児は20人に1人の保育士が子どもたちを見ており、4・5歳児は30人に1人の保育士が見ている状態で、発達障がいの子を抱えますと、大変な思いをして保育することになりますので、拡充という意味で検討をよろしくお願ひしたい。

<議長>

ありがとうございます。

ただいまのご意見について、事務局お願いします。

<社会福祉課長>

現在、発達障がい児に対する各民間保育園への支援についてですが、ご存知のとおり、現在、公立保育園につきましては、モデル園「3園」で、少人数保育やからだの育ち教室など実施しております。ここ最近では、民間保育園へも出向きまして、支援させていただいております。ただ、人的派遣といいますと厳しいため、お手伝いという形で、どのように保育を進めていったらいいかというようなノウハウ提供するなどの支援をさせていただきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

<議長>

ほかにご意見はございますか。

(発言なし)

ご発言もないようでございますので、第1号議案「大垣市第二次地域福祉計画の実績及び事業計画について」を承認してよろしいでしょうか。

(委員から「異議なし」の声)

ありがとうございました。

それでは、第1号議案は原案どおり承認させていただきます。

続きまして、「その他」といたしまして、「大垣市第三次地域福祉計画策定の進捗状況」について、事務局から報告をお願いします。

<事務局（説田係長）>

(資料に基づき説明)

<議長>

ありがとうございました。

ただいまの説明について、ご意見、ご質問等ございましたら、ご発言をお願いします。

<委員>

全体的なことをお願いしたいが、この計画は行政や社協が中心ということではなくて、利用者のことを考えていただきたい。災害時要援護者台帳、あんしん見守りネットワーク、あるいは愛のひと声運動等、行政の各課ごとで実施しているが、目的は一緒なのにバラバラになっている。ひとり暮らし高齢者台帳、災害時要援護者台帳、緊急連絡のてびきの申込が一

本化したとなっておりますが、実際、これをどうしていくかということ、利用者の立場で考えていただかないと、計画で終わってしまうのではと思います。

2点目に地域包括支援センターは5カ所、高齢介護課と社協にありますが、高齢介護課は非常勤の方が多い。情報交換はしていると思うが、地区によって担当がちがう。受ける側はまったく分からないため、組織のために社協に一本化してしっかり支援していただきたいと思っております。

3点目に第三次に向けてのアンケート調査について、説明を聞いていますと、利用者や対象となっている方のアンケートが入っていない。市民アンケートとなっておりますが、的確な答えが返ってこないのでは、一般市民の方はよく分からないと思う。やはり、災害時要援護者台帳、ひとり暮らし高齢者台帳、あんしん見守りネットワークなどに登録している方にアンケートを実施してはどうか。利用されている方の意見で計画を策定していかないと、同じことの繰り返しだと思う。自治会はこれから実施されるとのことですが、ぜひ利用者や対象の方に対してもやっていただきたい。よろしくお願いします。

<議長>

ありがとうございます。

ただいまのご意見について、事務局お願いします。

<社会福祉課長>

今回のアンケート調査には、確かにサービス利用者へのアンケートは入っておりません。私どもとしては、事業者側にアンケートを実施してご意見を伺うことを考えておりましたが、実際のサービスを利用されている方のご意見を計画の中で予定しておりませんでしたので、研究をさせていただきたいと思えます。また、縦割りの行政の中でというお話でございますので、そのあたりはすべての面につきまして、1つの事業を実施するのに、1つの課ではできない状況でございますので、横のつながりをしっかりいたしまして、当然、社協さんとも協力をしながら、よりよい地域計画にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

<高齢介護課長>

地域包括支援センターでございますが、直営としまして大垣市で1チーム、社協で4チームございますが、それにつきましても、今後どのようにするかを検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

<議長>

ほかにご意見はございますか。

<委員>

昨年から参加させていただいておりますが、話の内容を聞いていると本当に評価をしているのかと疑問を持っている。進捗状況を見ていると、委員会を開催した、あるものを作成したなどありますが、本来の目的は、それを実施したことによって、結果どのような効果があったのか、どんな変化があったのかなどが評価だと思うが、どうか。例えば、福祉推進委員の研修会を開催したことによって、自分の仕事の内容が分かって活動して下さるようになったと、だから実施する意味があるということが評価になるのではと思います。

<議長>

ありがとうございます。

ただいまのご意見について、事務局お願いします。

<社会福祉課長>

ありがとうございます。確かに、実際に使われた方がどうであったか、実際に研修等を受けられた方がどうであったかということで評価するのが、本来の評価であるということは承知しております。ただ、おひとりおひとりに意見を聞くということが難しいため、今回このように各団体の代表の皆様にお集まりいただいて、評価委員会を開催させていただいているところでございます。各個人のすべての評価がいただけないかもしれませんが、それぞれの団体の代表の皆様からいろいろなご意見をお伺いできればと思っています。また、第三次計画に向けての市民アンケートや、地区社協懇談会でのご意見等の中でも第二次計画での評価をいただいているところであります。すべてではありませんが、代表的な意見をいただきながら、第三次計画に反映させていきたいと考えておりますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

<議長>

ほかにご意見はございますか。

ご発言もないようでございますので、以上で、本日予定しておりました議事等をすべて終了させていただきます。委員の皆様には、円滑な議事進行にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

<社会福祉課長>

國枝議長さま、ありがとうございました。

また、委員の皆様には、長時間にわたり、慎重なご審議をいただきまして誠にありがとうございました。

以上をもちまして、「平成24年度大垣市地域福祉計画策定・評価委員会」を閉会させていただきます。本日は、誠にありがとうございました。